

令和7年度 北海道森林管理局第1回分収林評価委員会の議事概要

1. 日 時 令和7年12月10日（水）10時00分～11時30分

2. 場 所 北海道森林管理局 4階 中会議室

3. 議 題 分収育林契約の国による費用負担者の持分の買受けについて

第1号議案 留萌南部森林管理署	下記念国有林	1030ろ林小班の買受けについて
第2号議案 上川北部森林管理署	東生国有林	1119へ林小班の買受けについて
第3号議案 上川南部森林管理署	双珠別国有林	1230ろ2林小班の買受けについて
第4号議案 東大雪支署	黒石平国有林	34い林小班の買受けについて
第5号議案 檜山森林管理署	富里国有林	61ろ2林小班の買受けについて
第6号議案 檜山森林管理署	糠野国有林	156ほ林小班の買受けについて
第7号議案 檜山森林管理署	千軒国有林	4165ほ林小班の買受けについて

4. 出席者

委員長 菅澤 紀生

委 員 奥村 篤、濱田 修弘

北海道森林管理局 北海道森林管理局次長、森林整備第一課長

資源活用第一課 課長補佐

森林整備第一課 監査官、分収林係長、分収林係

留萌南部森林管理署 総括事務管理官、森林情報管理官、主任森林整備官、主事

上川北部森林管理署 総括事務管理官、事務管理官、主任森林整備官

上川南部森林管理署 主任森林整備官

東大雪支署 総括事務管理官、事務管理官

檜山森林管理署 総括森林整備官

5. 議事概要

委員による審議の結果、持分買受金額は適正に評価されていると判断された。

なお、主な質疑応答は次のとおり。

（第1号議案関係）

委員：現場諸経費等についてはどのように算出されているのか。

局：現場人件費、仮設経費等の各経費の実態に応じて算出し、各種保険料と諸雑費は決められた率を労務費から算出している。

委員：昨今の物価高の影響などで経費率が上がっていると思われるがどうか。また、特に運搬に係る経費等が急激に上がっているように思われるがどうか。

局：労務単価や燃料単価等は上がっているが、そのほかについてはそれほど大きく上がっ

ていない。

(第2号議案関係)

委員：搬出の条件について、現地は沢にはさまれており搬出路については既設の道を利用することとなっているが橋梁等はあるのか。

局：現地については橋梁等がなくても通行可能な程度の沢であり、過去に作設した道も利用でき、搬出について特に問題はない。

(第3号議案関係)

委員：ほかの議案と比べて評価額が安いように思われるがなぜか。

局：市街地から距離もあり運搬に係る経費等が高くなっていることが一因と思われる。

委員：本議案については過去に2度、風水害によって森林保険金が支払われているが、保険金はどのように算出されているのか。

局：被害木について林齢に応じて本数、材積等を調査し損害度合いを特定し保険金を算出している。

(第1、5号議案関係)

委員：ほかの議案と比べて現場諸経費等が高いと思われるがなぜか。

局：1、5号議案については他の議案に比べて材積が多く生産経費が高いからである。

委員：5号議案について、間伐の既分収額がほかの議案に比べて高いと思うが、形質の良い木を伐っているから高くなっているのか。

局：最も高くなっている3回目の間伐の既分収額については、定性間伐を行っていると思われ、劣勢木を中心に伐採し、競合している大径木等も伐採していること、また3回目の間伐なので全体的にある程度木が太くなり作業条件が良くなることで事業経費が抑えられていることも一因と思われる。

以上